



国会請願 5月17日予定

第1回築地多喜二祭で講演する荻野富士夫氏 於：日本橋公会堂 (2023. 2. 23)

ふたたび戦争と暗黒政治を許すな 5月国会請願めざし、署名目標の達成を！



No. 585

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都

文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail

chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

主 な 記 事

- 会員拡大、署名活動 2
- 私も一言／藤原麻子 3
- 顕彰碑／難波孝夫・久代の碑 5
- 抵抗の群像／安賀君子 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 7

ロシアの国連憲章と国際法を踏みにじったウクライナ侵略から2月24日で1年が経過しました。国連総会では、ロシアのウクライナ侵略に関する緊急特別会合が開かれ、ロシア軍の即時撤退や国連憲章の原則に沿って永続的な和平の達成を求める決議を加盟国の7割超の141カ国の賛成で採択しました。

岸田自公政権は「ウクライナは明日の東アジアだ」と、安保3文書を改訂し、敵基地攻撃能力保有など5年で43兆円の大軍拡、大増税の口実にしています。各種世論調査では「防衛増税」に圧倒的国民は反対を表明。自衛隊元幹部からも「身の丈を超えている」(香田洋二・元自衛艦隊司令官)などの声が上がっています。ノーベル賞受賞者天野浩(物理学賞)氏ら8氏は2月19日、日本学術会議法の「改正」は学術会議の独立性を毀損する恐れがあると、再考を強く求める声明を発表しました。

食品はじめ諸物価の上昇が、国民生活を圧迫しています。東京商工リサーチによれば、国内の主要食品メーカー200社の1月以降の値上げは、115社1万5012品目で、1月調査から4976品目増えました。みずほリサーチ&テクノロジーズは、2023年度の家計(2人以上)負担は、全体平均で前年度から5万1000円増と試算しています。国民のくらしを守れ!「再び戦争と暗黒政治を許すな」の闘いを全国で巻き起こそうではありませんか。これと結んで国賠署名を広げましょう。

2023年春の憲法講座開かれる

主催：憲法会議



春の憲法講座は「アジアと日本の平和を築く展望をどこに求めるか」をテーマに2月25日、額額厚山口大学名誉教授を講師にアルカディア市ヶ谷で開かれました。

額額厚さんは、詳細な資料をもとに熱をこめて2時間話しました。この中で、安倍首相の憲法破壊と改憲策動を受け継いだ岸田政権は、アメリカの「国家安全保障戦略」により、日本が対中国包囲戦略の一翼を担おうとしている。さらに、朝鮮、ロシア包囲に拡大され、大軍拡で軍事費は国民総生産の2%へ。安保3文書は、対米従属文書で、アメリカは中国を最大の仮想敵国といい、日本の「安保戦略」は、「新米戦略」の日本バージョン。また「国家や国民の総力を挙げ防衛力を強化する」は、戦前の国家総動員体制と同義である。また、この3文書は戦前の「日本帝国ノ国防方針」（国防3文書）と同質だと告発しました。

(文責：中央本部事務局次長 中嶋育雄)

山形

千代子映画で入会、友人をたづねて50筆

山上支部 橋本喜代子

私は『わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯』の映画を観て、千代子のひたむきさ・勉強心・知性・不屈さに感動し、憲法無視で軍拡・軍事体制づくりに進む日本の現状で自分出来ることをしな

近所の方、知人を訪問し、次のようなことを聞いてもらいました。ロシアが国内で戦争反対者を処罰していること・日本でも侵略戦争に進んで行ったとき戦争反対者・天皇のために命をささげるのでは

会員拡大、署名活動すすむ

ければ、と思いい会員になりました。

支部で署名活動が提起され、署名用紙の訴えを読み、多くの人に事実を知らせることが大切と思いました。

なく国の主人公は国民だと訴える人を治安維持法という法律で逮捕し、拷問し処罰したこと。請願署名用紙の写真にある小林多喜二も若い有能な作家だったけど、布団針を太ももに刺される・指先の爪の間に針を刺されるなどひどい拷問を受けその日のうちに殺されてしまい、同じようにして命を奪われた人が何人もいたこと。世界の主要な国々では謝罪・賠償をしたが、日本政府は「治安維持法は、適法だった」と言って向き合わず、謝罪もせず、賠償もしないこと。そして「声を大きくしていくことが『ふたたび戦争と暗黒政治を許さない』ことになるので、是非、署名して下さい」とお願いしました。

真剣に話を聞いてくれ、自分だけでなく「家族の分も」と言って署名用紙を預かってくれる人もいました。最終的に50人分を書いてもらいました。

事実を知らせることの大切さを改めて考えさせられました。

(県本部「不屈」2月15日号)



国賠同盟中央本部 前会長の「増本一彦さんを偲び、新たな出発の集い」が先月、増本さんの地元・神奈川県内で開かれました。増本さんが亡くなられたのは昨年2月6日。開催が遅れたのはコロナ禍の影響でした。増本さんから生前、国賠同盟と消費税をなくす会、革新懇を軸に活動したいと聞いたことがありました。出席者からは

「赤いバラの花が大好きだった」「ストレス解消法は車を走らせること」などのエピソードが語られました。増本さんと筆者の出会い、1976年の衆院選。最も印象に残るのは、候補者を降りたときのご苦労さん会でのあいさつ。「候補者」の「荷」をおろした普段着の語りは心に響き、会場から嗚咽が漏れました。看板を背負った緊張から解き放されたのだろうと思いました。増本さんの信念は「勝つまでたたかう」。その遺志を受け継いで、岸田内閣の大軍拡、大増税にストツプをかけるためにたたかう決意が語られました。(鶴)

新潟

上越支部再建し8人から57人へ前進

新潟県本部第40回大会での田中徳光上越支部長の発言から。

昨年3月15日、上越支部再建準備会をへて4月16日に再建しました。再建8カ月の取り組みについて発言します。

1つは国賠同盟の存在意義は、



こんなに農民が苦しみ、国民が生活に苦しめ、食べたくても食べられない人々が増えたことがあったのだろうか。生産費が農畜産物の販

売価格を大幅に上回って経営の基盤が壊されています。

これでは経営は続けられませんが、国民は物価が上昇しているのに実

質所得が低下し、年金も減らされ続けています。

値上がりしている食料品の多くの原料は輸入です。1960年には約80%あった日本の食料自給率は、昨

一言

軍拡ではなく農拡で命を守れ！

藤原麻子

戦争する国への暴走をやめ、国民の命の糧である農業への施策を

拡充し、欧米では当たり前に行われている食べられない人々への食料支援制度を創設すべきです。私たちは、耕し、飼育しながら平和を叫び続けたい。軍拡ではなく農拡で命を守れ！

(農民運動全国連合会事務局長)

「戦争する国づくり」に、草の根からこれに立ち向かう世論を高めるうえで「9条・平和」だけでなく「思想・言論・表現の自由」の側面についても取りくみの強化が必要です。治安維持法による思想弾圧の犠牲になった「伊藤千代子の生涯」を学ぶことは、この側面に光を当てる取り組みとして重要な意義を持っています。

この間、ワタナベ・コウさんの講演会、伊藤千代子の上映会を通じての感想文から実感しました。情勢は「2つの逆流」に直面し、「市民と野党の共闘」の再構築が求められているなか、千代子上映実行委員会に民主団体6団体が結集し、今までにない224人参加で大盛況。「市民連合」の関係者も参加、「すごいですね」「よかつ

こんなにも農民が苦しみ、国民が生活に苦しめ、食べたくても食べられない人々が増えたことがあったのだろうか。生産費が農畜産物の販

岸田首相は、「自分の国は自分で守る」として、敵基地攻撃能力の保持と大軍拡に踏み出していますが、食料とエネルギーのほとんどを外国に依存する日本が戦争する国になれば、国民の命を守ることはできません。

戦争する国

たですね」と感嘆してくれました。「市民運動」を激励する役割をはたしました。

2つは、伊藤千代子のワタナベ・コウさんの講演会、映画「千代子の生涯」上映会を通じて、拡大の条件が広がり、再建当時上越では、点在8人でしたが12月1日現勢で49人と6倍になりました。

当初は、治安維持法体制復活に正面から立ち向かう国賠同盟の必要性を訴えていました。

今は、講演や上映会を通じて国賠同盟の実像があらわとなり、同盟への理解が広がり、新しい条件が生まれています。以前働きかけて、返事をもらえなかった人に映画後訴えると二つ返事で入会してもらいました。

これまで、糸魚川市に会員がいまいませんでしたが、この取り組みで8人が会員になりました。

支部結成後、毎月の理事会で拡大対象者をあげ、誰が働きかけるかを決めています。

会報で会員拡大を訴えつづけています。役員以外も含め9人が拡

(4ページにつづく)

大し、1月1日現勢で52人、支部目標を達成しました。

(上越支部長・田中徳光)

大阪

仲間をふやし、財政もゆたかにして、諸課題を成功させよう！

2月理事会で学習会、『治安維持法と現代』第44号(2022年秋季号)から山田朗氏(明治大学教授)の「今日における憲法9条の意義と役割―ウクライナ戦争と日本の軍拡を考える―」を読み合わせ学習しました。

佐野彰義副会長が、知事選でタツミコーターローを勝利させ維新政治と決別しようと訴えました。

甲斐富貴雄事務局長の報告は、1月「仲間増やし」は6人増、5人減で1人増勢。此花支部が5人の仲間を増やした。

署名は4067筆に到達。

「不屈」2月号に1400人分の払込票の折込みをするので、支部所属の会員については各役員会が納入を勧める運動を展開して欲しい。2月26日多喜二祭当日の要員協力の要請がきています。

(「不屈」大阪版2月15日号)

小林多喜二 没後90年の集い

2月23日、東京都中央区の日本橋公会堂で初めて行われた築地多喜二祭では、荻野富士夫小樽商科大学名誉教授が「多喜二文学の世界への広がり」と題して、記念講演。多喜二文学は多喜二の生前から世界から注目されていたこと、その死に際して追悼が魯迅、郁達夫から寄せられたのをはじめ、ヨーロッパの機関紙誌にも掲載されたことが実物コピーと訳文を通して紹介されました。

また、この日は午前中に多喜二が殺された築地警察署、担ぎ込まれた前田医院、築地小劇場跡地の記念碑を50人でフィールドワーク(写真)。

翌日には多喜二が新婚生活を送った麻布十番や新居とした称名寺を15人でウォーキングしました。



(中央本部事務局次長 永島民男)

映画「島守の塔」が描かなかった人物像「水車」22年11月15日号のこと

澤田勝雄

昨年、全国で上映された映画「島守の塔」。五十嵐直監督は主人公となる島田勲・沖縄県知事について、その知事の「行政責任」ではなく「人間的な魅力」を描きたかったという。確かに、あの悲惨な沖縄戦の最中、「生命を大切にしろ」「生きて家に帰るんや」と村民や職員を諭す発言をしたことは、異色であり、人間性を感じさせる、ある種の感動すら呼んだ。

しかし、日本国内で唯一の地上戦に巻き込まれた沖縄県民の犠牲者は、民間だけで10数万人と推定される。この沖縄戦の本質やその戦争責任を描きえなかったのはなぜか、という映画批評が出され、「不屈」コラム(「水車」)への疑問も寄せられた。そして、戦争の実相を知らない若者がこの映画を観て、史実と創作の区別がつかず、そのまますべて事実と受け止めてしまうかもしれないという疑念も出された。島田氏は国(「天皇制」)のためなら死んでもかまわない、という「国体護持」思想が

根付いた人物だった(川端彰・沖縄近代研究者 琉球新報の論考)。

島田の経歴を追うと、内務官僚として、山梨、福岡などの課長を歴任。徳島県保安課長時代には「3・15」の共産党弾圧に関与、上海では特高警察の幹部として抗日運動の中国人、朝鮮人を弾圧する側にいた。

45年、沖縄県知事に着任し、沖縄県大政翼賛会支部長として軍・民が一体になって「鉄血勤皇隊」や「ひめゆり学徒隊」などに動員し統括する筋道を作ったという史実がある。島田氏は沖縄が、日本軍第32軍の「捨て石」となるという玉碎覚悟の作戦を知らなかったとは言えにくい(川端氏の指摘)。

こうした史実を検証するならば、たとえ島田氏が早くから日本の敗戦を予測し「間違った戦争」という考えになっても、戦争責任から逃れえない。正義感の持ち主であっても、単純に「ヒューマニスト・島田」の一面をもっていたという評価だけではすまされない。こうした歴史の事実を筆者の私も学んだのであった。

(「不屈」編集委員)

顕彰碑

|||||探訪

日農岡山県連常任書記

難波孝夫と妻久代の碑

「難波孝夫」は1928年第一回普通選挙に労働党から立候補した難波英夫の実弟。

長女、素美恵の夫、難波金広さんは難波孝夫について板野勝次著の『嵐に耐えた歳月』と水野秋著の『岡山県社会運動史』がよく書いてある。また「26年に検挙され、保釈された日の写真と孝夫が著した『農民教育についての一考察』という活版のパンフがある」と見せてくれた。

20年代から20歳半ばの難波孝夫は農民運動に参加し、小作争議を指導する「時代の先駆け」だった。3・15で検挙された時は日農岡山県連の常任書記。その後、難波英夫を助けて「マルクス書房」の運営に参加し、戦後は芳



井町共和村下嶋で党活動を続け、50歳で亡く

なった。成羽町上日名にある「難波英夫の碑」とならんで建つ「難波孝夫・久代の碑」は長女の素美恵、長男の譲、次男の捧と長女の夫、難波金広さんが建立した。碑には「我は故郷の草分け戦士なり」と刻まれている。

妻の久代は、早くから農民運動に加わり、27年に創立された岡山県婦人同盟の書記長に選出されている。2人を知る赤塚節也さんは「久代さんは元気で明るかった。孝夫さんは砂埃の道を自転車『アカハタ』を配っていた。久代さんが41歳で亡くなった。2人は暗い時代を息長く闘い、倒れた」と話してくれた。(福井正樹・中央本部副会長・岡山県本部事務局長) 【交通】岡山県JR伯備線備中高梁駅よりタクシーで25分。問い合わせ 0866・22・5360 (高梁市職員労働組合)

12月、1月で22人の入会者あらゆる機会と集会での署名行動と入会の訴えが原動力

「岸田政権の大軍拡大増税ノ、新たな戦争前夜と戦争を許さない」の世論と運動の高まりの中で、1

月は神戸市・中央支一部の役員がそれぞれ身近家族の入会で3人、担当三役(支部長)が全県的視野での結びつきを生かし3人を拡大さらに地域の救援会総会と県労働者後援会新春のつどいで署名を41集めました。

明石支部では恒例の年金者の「新春のつどい」で署名35筆を集め、その参加者の中で2月にはいつ



て知人の会員の働きかけと映画を見た人に入会をすすめ、1月の総会で新たに選出された事務局長が元職場のOBによびかけ、合計3

人の入会で、連続2ケタ拡大への推進の役割をはたしています。この教訓を生かし、全県的運動に広げるために当面、選挙の後援会、各種集会、3・13重税反対統一行

動、憲法集会、リーダー等に組織的、計画的に参加し、結びつきを

つよめ、署名目標と当面会員1200人拡大に役員・会員が力合わせて奮闘しましょう。

県本部会長・築谷時雄
(兵庫県本部「不屈」2月15日号)

全国女性交流集会の報告会

1月27日、第31回全国女性交流集会の報告会が坂本民主診療所ホールで開催。雪の舞う中でしたが24人の参加でした。

「伊藤千代子の生涯とその時代背景」と題して

同盟県本部幹事の高田直樹さんの講演で学習を深めたあと、交流集会参加の藤岡さん、数回参加の古谷さんからの報告は臨場感があり私も参加してきたように思えました。

閉会の挨拶で県本部会長島田耕さんは「過去の過ちの謝罪を求め未来を拓く国賠同盟の意義を確認する事ができました」と発言されました。

大津支部幹事・菅沼満佐子

(滋賀県本部「不屈」2月15日号)

抵抗の群像



郷土の先覚者

やすがきみこ
安賀君子

君子は1906(明治33)年9

月5日、大阪浪速区で、父・岩次郎、母・キクの長女として生まれました。6人兄弟で女は君子だけで父母の愛情を一身に受けて育ちました。父は淡路島出身で神戸造船所から身を起し、尼崎汽船ボイラー製造で第一次世界大戦の好景気で大阪の長者番付に名前が載ったこともありました。母も働き者でした。

君子は小学校を卒業し、天王寺区の夕陽丘高等女学校に進学し、紺色の袴をはいて通学。特に目立つわけがなく、大きな目と太い眉、厚い唇は意思の強さを感じさせます。女学校を卒業後は、琴や三味線、長唄の稽古や、ロシア人の教師に師事しピアノの演奏が得意でその腕は相当なものでした。

君子は共産党の活動に入ってから、「何をしてても良い世の中がき

たら、私は作曲を仕事として素晴らしい音楽の世界を作りたい」と、峠あきの(原爆詩人・峠三吉の義妹)に語っていたそうです。

丙午(ひのえうま)生まれの君子は、「丙午の年に生まれた女性に勢いが強くて、結婚すると男を喰い殺す」という迷信のなか、同級生らと「拒婚者同盟」をつくり、大正デモクラシーの中で反骨精神を示し、大きな話題になりました。

君子の兄、秀三は、東京大学の東大新人会で、マルクス主義の研究や、学問の自由を掲げて闘い学連事件で逮捕。労働農民党の大山郁夫委員長秘書となり一緒に闘いました。

君子は兄の影響をうけ、『自分も勉強しなければ』と、社会科学の勉強を始めました。29年頃から運動に参加。翌年、大阪寺田町紡績争議に全協繊維オルグとして活

動。30年、君子は24歳で「戦旗社」

(全日本無産者芸術連盟発行の機関誌)のオルガナイザーとして、

岸和田紡績界工場のストライキに参加し、31年7月「共産主義青年同盟」に加入し、9月、日本共産

党に入党し地下活動に入りました。党関西地方委員、印刷局員、党

委員会大阪北地区オルグとして活動。33年8月、目的遂行罪で検挙

され、懲役2年6カ月に処され入獄。36年10月、非転向のまま京都府宮津刑務所を出所し、37年7月

に春日庄次郎と結婚します。君子は「職業婦人の発展と進歩向上を目指す」ことを目的とした、女性

反戦団体「かりがね会」を結成し、「レーニン主義の基礎」のパンフをテキストに講師もしました。

12月、「共産主義者団」が結成され、活動期間が10カ月たらずの間に機関紙、ビラなどは40種類に及び、関西を中心としながらも沖縄までも影響を及ぼしました。

君子がプリントした、ガリ版刷りの共産主義者団の機関誌「嵐について」の創刊号は、「昭和13年7月1日発行 月一回 定価10銭」

とあり、「我が団の目的は当面、戦争とファシズムに対する大衆闘争の展開によって、この闘争に真剣に立ち上る労働者、農民、その他の勤労者階級の戦闘的組織を至る所につくり革命的闘争の中心部隊―日本共産党の再建の土台を構築することにあります。」(以下略)

38年3月、君子は「団」のプリンター(印刷発行者)に就任しました。同年8月27日に検挙され、持病の痔の病が悪化し出血に悩まされていましたが、非転向の病気持ちとして、警察で性的拷問を含む凄惨なテロをうけ、過酷な扱いをうけたが屈しませんでした。

京都府警の取り調べ中に、2階の窓から飛び降り、脱出を計ったが足を骨折し失敗。当時の天皇制警察は、本人が転向表明をしない限り医者にも診せず放置する残忍さでした。

君子は43年危篤に陥り家族の要望で病院に移され、家族が見守る中お見舞いのシクラメンの花を両手で包み込み、43年4月5日、36年の生涯を閉じました。

(同盟本部副会長・大石喜美恵)

同盟文芸

短歌

確田のぼる選

母の日に涙光りし夏の朝戦の地から父帰ってくる

埼玉県 福家 駿吉

3・15大弾圧を忘れるな覚えていろと多喜二の呻き

岩手県 牛山 靖夫

「新しい戦前」来るかと思わせる孫やひ孫の戦士は

嫌だ

兵庫県 岸本 守

啄木は今なお生きて励ましくる戦争前夜をひるまず

生きよと

岐阜県 田中 良

戦世に命つないだ油味噌おばあのレシビ祈りのレシ

ビ

沖縄県 塩田 伸子

強風と氷天下での『旗』配達雪国思えば力湧きくる

埼玉県 細谷 宣朗

松代の大本営を彷彿させる自衛隊基地の地下化計画

島根県 小玉 信恵

「あたらしい戦前」は嫌「いつまでも戦後であれ」

と声の強まる

岐阜県 和田 昌三

九条を知らぬという若者に戦の悲惨伝えて署名

福井県 元山章一郎

十七で戦死の兄を想いつつ隣の節子さん花に水や

る

静岡県 江川 佐一

〈選のあとに〉きな臭い情勢を敏感に反映した作品

が多かった。遠い戦争の日を呼びおこしている福家

作品と牛山作品と、また岸本作品、田中作品、塩田

作品等々にも、底深く流れているのは、軍国へ急ピッ

チで進む岸田政治への鋭どいまなざしであった。今

こそ言葉を研ぐ時である。

俳句

望月たけし選

「起きよ」多喜二の母よ春一番

神奈川県 天野三葉子

春迎ふ絵筆に反戦込めていく

埼玉県 小池 荘八

春の馬毛宝の島は軍事基地

岩手県 畠山 文裕

戦没者出すなと街宣震舞う

兵庫県 岸本 守

九条こそ「平和の準備」永遠の春

東京都 岡崎たかね

〈評〉一句目、2月20日は小林多喜二没後90年の

「多喜二忌」でした。多喜二の文学は今も生き続け

て、成長し続けています。(百年の先も多喜二忌に

未来 たけし)は『民主文学』2月号に発表した私

の句です。

死者増やし戦災孤児を生む戦

川柳

鈴木いさお選

〈評〉ロシアとウクライナの戦争もそうだが、戦中

派の私にとつては、やはり太平洋戦争での悲惨な日

本の姿が思い浮かぶ。今までも増して反戦平和を

詠み続けたものだ。

「安保三文書」だけで平和は作れない

気が付けば先進国は遙か先

今日もまた署名集めて平和維持

手みやげは武器の爆買いバイデンへ

北海道 三隅 雅彦

北海道上映しセリフで聞き取れなかった部分を補い理解が進んだと大好評。3月から全国で運用を開始します。

5月から第3次運動へ

中央本部は、同盟運動の上げ潮を切り拓くため、一斉地方選後の5月から第3次上映運動の展開を呼びかけ、新デザイン宣伝物を準備中です。

映画「わが青春つぎるとも」上映運動コーナー 字幕版運用開始

「この作品の情勢に似てきている」!

この感想は2月末、大阪保険医協会上映会で、岸田政権の大軍拡戦争準備と政治反動の強行を見事に表現しています。同盟が主唱する「再び戦争と反動政治を許すな」のスローガンが広く国民の共通の認識になりつつあり、映画はこの国民的大義の闘いを励ますものとなっています。

抜群の出来栄え・字幕版運用開始

2月19日札幌・手稲会場、26

日奄美大島で上映しセリフで聞き取れなかった部分を補い理解が進んだと大好評。3月から全国で運用を開始します。

5月から第3次運動へ

中央本部は、同盟運動の上げ潮を切り拓くため、一斉地方選後の5月から第3次上映運動の展開を呼びかけ、新デザイン宣伝物を準備中です。



増本一彦前中央本部会長 偲ぶ会開く

「増本一彦さんを偲び、新たな出発の集い」が2月11日、横浜市内で開かれ、65人が参加しました。国賠同盟、革新懇、年金者組合、地域の人たちでつくる実行委員会が主催。増本さんの気高い遺志を受け継ぎ、大軍拡・大増税をねらう岸田内閣に真正面から対決して、民主的な政治への転換へがんばる決意などを語り合いました。

集いでは同盟中央本部の富矢信男顧問が献杯の音頭をとり、田中幹夫中央本部事務局長が追悼のあいさつを行いました。

また共産党、革新懇、年金者組合、消費税をなくす会、自由法曹団、国民救援会、地元鎌倉市・葉山町の代表らが、仲間に

「〇〇ちゃん」と呼びかけた増本さんは「先生と呼ぶなどいわれた」などの思い出やエピソードをこもこも語り、故人を偲びました。

最後に増本さんの妻、敏子さんが「最後まで意識は鮮明でした。多くの人に愛された人生でした」と、お礼の言葉を述べました。

【訃報】林 直道氏死去

林直道氏は、1月6日死去されました。享年99。京都・滝川事件、早稲田軍教事件とともに、戦前日本の学生運動弾圧三大事件と言われる、大阪商大事件で逮捕・投獄された治安維持法犠牲者です。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

【訂正】

・本紙1月号西日本版8ページの5段目4枠目「平和・民主・革新の日本をめざす兵庫の会」の電話番号を〇七八八〇二一〇一三〇に訂正します。

事務局日誌

・本紙1月号西日本版9ページの3段目4枠目「日本共産党高砂市議員 大西由紀」を「日本共産党高砂市会議員団」に訂正します。

・本紙2月号5ページ「顕彰碑」2段目の中曽根将二さんを中宗根将二さんに訂正します。

3ページ下段の千葉支部会員拡大の記事の筆者は渡邊喜代子に訂正します。

2月5日 東京都本部「春をよぶ集い」

2月7日 「不屈」編集会議

2月8日 兵庫県本部会長・事務局長と懇談

2月9日 日本母親大会実行委員会

2月11日 神奈川県増本一彦さんを偲ぶ集い

同 多喜二没後90年文学の集い

2月22日 映画「伊藤千代子」字幕挿入試写会

2月23日 没後90年築地多喜二祭

同 宮沢・レーン事件を忘れないつどい

2月24日 小林多喜二麻布稱名寺メモリアルプレー設置下見会

好評発売中

『治安維持法と現代』

2022年秋季号 (44号)

治安維持法と現代



【主な内容】〈巻頭論文〉岸田政権を覆う統一教会の闇=五十嵐仁、国民に弔意を強制する憲法違反の国葬=中田進、ウクライナ戦争と日本の軍拡を考える=山田朗、なぜ憲法9条が大切か=21世紀の人類の「導きの星」=金子勝、〈基礎学習〉ジェンダー問題=坂井希、「防衛白書」と自衛隊=小泉親司、統一協会と自民党の癒着=柿田睦夫、維新の会の今とその本当の姿=西谷文和、〈文化・芸能〉松本清張没後30年に寄せて=高橋敏夫、生誕100年ドナルドキーン=山本長春、〈特別リポート〉菱谷良一さん・生活図画事件をめぐる道東の旅=川嶋均、〈インタビュー〉吉田万三・同盟新会長に聞く、なぜ同盟女性部は必要か=大石喜美恵、〈資料・治安維持法下の闘い〉映画「伊藤千代子の生涯」製作・上映運動の「突破点」=藤田廣登

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。